



機関誌 第21号

自民石川

自由民主党
石川県支部連合会
組織広報本部

金沢市鞍月5-255
TEL 076(237)0911(代表)
FAX 076(237)0915
http://www.hokuriku-web.jp/jf-isikw/

特別インタビュー

安倍政権80日で ここまで変わった日本

自民党が政権を奪還し、安倍政権がスタートして約80日。日本再生に向けた取り組みがいよいよ本格化する中、行政改革担当大臣として初入閣し、党福井県連会長も務める稲田朋美氏に、岡田直樹・党石川県連会長がインタビューしました。

将来に希望を持てる国に

——大胆な経済政策など独自色を打ち出す安倍政権に、国民の高い支持率が続いています。内閣の一員としてどう感じていますか。

稲田 ■ 民主党政権下で日本は閉塞感に包まれ、希望を持ってない国になってしまいました。が、政権交代で将来に希望を持てる国になりつつあります。景気の「気」は気持ちの「気」でもあり、「アベノミクス」の推進で日本が再び強い国になるという期待が、多方面にプラスの影響を及ぼしていると思います。

—— 外交面でも、領土問題や日米同盟の再構築などに精力的に動いていますね。

稲田 ■ 諸外国との関係は一筋縄ではない問題ですが、安倍総理の外交には高度な戦略性を感じます。森元総理のロシア派遣もそうですし、オバマ大統領との会談は2時間近くに及び、民主党政権で失われた信頼関係の回復が着々と進んでいます。



(平成25年3月14日、内閣府で)

—— 民主党政権の3年は日本にとってどん底でしたが、安倍総理もどん底を経験し力強さを増したような気がします。

稲田 ■ 当時、安倍総理は再起をかけ、靴を何足も履きつづすほど地道な戸別訪問を重ねたそうです。そして、前回の失敗体験も教訓に、日本再生に全力を上げています。再チャレンジ担当大臣として、いろいろな再挑戦を応援し結果の出せる社会をつくっていきたいと思います。

—— 稲田大臣が所管する中で、特に力を入れる政策は何でしょうか。

稲田 ■ 総理が打ち出した「3本の矢」のひとつに成長戦略があり、その要となるのが規制改革です。経済成長を阻害する規制は排除すべきですが、だからといって何でも規制緩和すればいいというものではありません。変えるべきところは変え、守るべきものは守り、常に目的と効果を慎重に検証していくつもりです。

地方発クールジャパンを

—— 金沢までの新幹線開業が2年後に迫る北陸地域では、「アベノミクスで相乗効果」と、一段と期待が高まっています。

稲田 ■ 日本の再生は地方の活性化なくしてはあり得ません。福井県が誇るメガネフレーム産業をアピールするため、私は最近、メガネをかけ始めました。石川県にも数多くの伝統工芸をはじめ、世界に誇れる文化や産業がたくさんあります。わが北陸をはじめ、地方のクールジャパンを積極的に発信していきたいです。

—— 稲田大臣は、平成17年のいわゆる「小泉郵政選挙」で初当選しましたが、小泉構造改革は地方にとって厳しい側面もありました。

稲田 ■ 確かにそうですね。その2



稲田 朋美 いなだ ともみ
昭和34年、福井県今立町(現越前市)生まれ。早稲田大学を卒業し弁護士に。平成17年総選挙で初当選(福井1区)、現在3期目。第2次安倍内閣で行政改革担当、公務員制度改革担当、クールジャパン戦略担当、再チャレンジ担当、内閣府特命担当大臣(規制改革)、自民党福井県連会長も務める

■ インタビューを終えて
岡田直樹
新人として挑んだ平成17年の衆院選で相手陣営から受けた「落下傘候補」との批判を、「私は落下傘でなく福井の…おっかさんです!」と一蹴したパワフルな稲田さん。来たる参院選では北陸3県すべてで議席を獲得し、会長同士、笑顔で握手を交わりたいものです。

3代議員が抱負を語る

石川のため、日本のために全力!

5つの
質問

1 政府・党の役職

2 国会の委員会・党の部会

3 現在、力を入れて取り組む仕事

4 今年の抱負

5 石川県勢の発展に向けて最も力を入れる点

デフレ脱却・五輪招致で重責を果たす



【石川1区】
はせ 浩

1

国会対策副委員長
東京五輪招致推進本部長
教育再生実行本部副本部長
文部科学委員会筆頭理事

2

おごらず謙虚に「まとめる政治」を常に心がけ、補正、

3

当初、暫定の各予算などからなる、切れ目のない15カ月予算を成立させます。そして、デフレ脱却を軌道に乗せます。議員立法で「いじめ対策基本法（仮称）」を提出し、制定をめざします。

4

2020年の東京五輪招致を実現し、新しい活力のある日本の発信と国民に大きな夢を与えたいと思います。そして、景気回復、参議院選挙での勝利です。

5

北陸新幹線の前倒し開業とフル規格による敦賀以西の延伸。金沢大学工学部跡地の利活用、金沢港の整備拡充、片町香林坊再開発（老朽化ビル対策）を進めます。

「震災復興」と「経済再生」に全力投球



【石川2区】
佐々木はじめ

1

自民党青年局次長
経済産業委員会委員

2

東日本大震災
復興特別委員会委員

3

原子力問題調査
特別委員会委員

4

今回の選挙で、私は「震災からの復興」と「経済再生」に取り組むお約束をしました。好運にも、このテーマを主に扱う委員会に配属され、精いっぱい活動をして責任を果たしていく決意です。

5

まずは通常国会を通じて、先輩議員と相談しながら、公約の実現に一生懸命に取り組みます。選挙区では後援会づくりを進め、参議院選挙での完全勝利をめざします。

6

北陸新幹線金沢以西の建設が本格化します。特に、白山駅の実現や関西までの早期建設に力を入れます。

地方振興の要となる政務官にやりがい



【石川3区】
北村しげお

1

総務大臣政務官兼
内閣府大臣政務官

2

総務委員会委員 総務部会
国土交通部会 農林水産部会

3

地方行政・地方財政・地方税制・地域活性化を担当する政務官を拝命しました。長らく地方自治振興にかかわってきただけに、非常にやりがいを感じています。大臣、副大臣を支え、地方発展のためにその重責を果たす覚悟です。

4

自民党が掲げた「日本を取り戻す」を実現するには、まず疲弊した地方経済を活性化させ、過疎化に歯止めをかけることが重要です。地方自治を担当する政務官として全力を尽くします。そして、参議院選挙での勝利をめざします。

5

七尾港、輪島港の整備促進、能登空港の機能充実と利用促進、北陸新幹線の早期完成と交通ネットワークの整備による地域経済の活性化、観光産業の促進を図ります。

いざ
決戦へ!

参院選

この人に聞く

1 自身のセールスポイント

2 国政で取り組みたい課題

3 参院選に臨む決意と有権者へのメッセージ

4 石川県勢の発展に向け最も力を入れたい点



石川県
選挙区

や ま だ し ゅ う じ
山田修路

培った人脈と経験を石川発展のために

プロフィール 昭和29(1954)年、加賀市出身。金沢大学附属高校、東京大学法学部を経て51(1976)年、農林省入省(現農林水産省)。埼玉県農政課長、外務省参事官(OECDパリ勤務)、同省農村振興局長、生産局長、水産庁長官、農林水産審議官などを歴任。昨年9月退官し、今年夏の参議院選挙石川県選挙区からの立候補を正式表明、同年12月、自民党公認となる。**趣味** 水泳、ウォーキング、バドミントン **家族** 妻と娘、愛犬ノエル **好物** うどん、そば、煮魚、お茶漬 **信条** コソコソと誠実に

【後援会事務所】
自由民主党石川県支部連合会 内
〒920-8203 金沢市鞍月5-255
☎076-256-0270 FAX076-256-0271

1 約30年勤めた農林水産省では、農山漁村を中心に活力ある地方づくりに深くかかわってきました。最も印象深いのは、農村の景観と豊かな自然を守るために、農家だけでなく地域住民も参加する新事業を立ち上げたことです。この事業を通して地域が一体となり、住民意識も高まることを学びました。私は、いま地方が置かれている厳しい状況を誰よりも知っており、その解決にただちに取り組みます。



埼玉県農政課長時代のひとコマ

2 農林水産審議官時代、国連食糧農業機関の世界農業遺産に「能登の里山里海」が認定されるお手伝いも思い出です。このように、国、地方、海外で培った人脈と経験をフルに生かし、ふるさと石川の発展に尽くす決意です。

3 「地方の活力なくして国の活力なし」です。東京の一極集中を是正し、地方で安心して暮らせる社会基盤の充実に取り組みます。

4 北陸新幹線の開業効果を県内隅々に波及させることが重要です。特に、高齢化率の高い地域では、子育て世代や若者が定住できる雇用の創出や生活環境を整えるために、フランスなど海外のモデルを参考にした社会システムの導入を推進します。



比 例 表
み や も と し ゅ う じ
宮本周司

小規模企業を支援し
地域力を高めたい

プロフィール 昭和46(1971)年、辰口町出身(現能美市)。金沢泉丘高校、東京経済大学経済学部を経て、平成7(1995)年、家業である宮本酒造店入社。同年11月、旧国税庁醸造研究所に出向、12(2000)年、宮本酒造店代表取締役。石川県商工会青年部連合会会長、全国商工会青年部連合会会長などを歴任。昨年11月、全国商工政治連盟の推薦で、今年夏の参議院選挙比例代表に自民党からの出馬が決定。**趣味** 音楽鑑賞(ピアノ・クラシック音楽等) **家族** 妻と娘(中学生) **好物** 日本酒、そば **信条** “自立”と“自律”

1 現地現場を重んじて、物事を多面的に捉え、決断したことはブレず、実直に取り組む姿勢です。

2 小規模企業を支援、地域の商工業や産業を躍動させ、疲弊する経済を再生し、地域力を醸成できる社会を実現します。

3 小規模企業基本法の制定とデフレ経済の早期解消。地域の経済・雇用・生活の再生と東日本大震災地の早期新生です。そして、損得や値段の高低ではなく、『価値』や『本質』で評価される社会をつくりたいですね。

4 浅学非才の若輩者ですので、諸先輩方のご指導をいただきながら、微細にわたる情報共有と、個々の強みを最大限に発揮できる連携を図り、石川県にとって有益な活動の一つひとつ実現してまいります。

コラム 参院選で “福の神”を呼びこめ

政権が変わると「こうも日本は変わるのか!」を、今さらながら痛感する。官僚を頭から馬鹿と決めつけて敵対視し、「何でも政治で決める」と見栄を切った民主党の稚拙な政権運営が、日本をますます混迷へと追いやった。政治主導を歌い文句にしたものの、実態は財務省の描いたシナリオを演じる操り人形に過ぎなかったのである。
目下、日本の至上命題は深刻なデフレの

“3本の矢”を阻むもの、それは…

克服に尽きる。そのためには、官僚をうまく使いこなすことが肝心だ。では、どうすればよいか。官僚はこれまでにない処方箋を考えるのが苦手だが、政治がきちんと方向性を示してやれば、それを達成する能力は極めて高いのである。
安倍首相の打ち出した大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略からなる“3本の矢”こそが、この方向性であり、最近の株価上昇や円安に振れ

た為替相場を見れば、その実効性は明らか。しかし、国民が景気回復を実感できるのはまだ先のことで、油断は禁物である。
最初のハードルは、今年夏の参議院選挙だ。与野党が逆転する今の参議院の状況を何としても変えなければ、予算案は通っても関連法案がついてこない。このねじれ解消こそ、日本に長く居つく“貧乏神”を追い出し、“福の神”を呼びこむ一番の景気対策ということに、国民もそろそろ気づいていいと思う。

国予算獲得で 県から逆要望

平成25年度石川県予算の編成で不可欠となる国予算獲得に向けて、県執行部から自民党県連五役に対して昨年12月22日、協力要請があり、紐野義昭



谷本知事に要望書を提出する県連役員
=昨年10月12日

幹事長は「政権与党として地方にあってもわれわれの責任は重く、大きい」と後押しを約束した。

特別寄稿

県連一丸となって 参院選勝利を

元内閣総理大臣
森 喜朗



昭和44年の初当選以来、44年間に及ぶ政治生活を終えることになりました。この間、石川県民とくに我が党の黨員党友の皆さんには大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。

昨年暮れの総選挙では、県連を中心に私の後継者として選考して頂いた佐々木紀君が見事当選し、石川県は1、2、3区とも完全勝利を制しました。いよいよ残すは今年の参議院選挙での勝利です。既に党公認となった山田修路氏のご健闘と、皆さんのご支援をお願い申し上げます。常に楽な選挙はありません。県連一丸となって確実に勝利をつかもうではありませんか。そのことが、私にとりまして最後の責任を果たすこととなります。

さて、安倍政権はデフレ脱却と経済成長を第一義にスタートを切り、先行きを好感する円安株高の波にも乗って、好調な滑り出しをみせています。ただ、「好事魔多し」、好調時こそ「稔るほど頭をたれる稲穂かな」の姿勢で臨まねばなりません。

私は目下、東京オリンピック招致評議会議長として、今秋のアルゼンチンのIOC総会をめざし、また日本ラグビーフットボール協会会長として、2019年のラグビーワールドカップの準備に入ります。さらに、2015年の世界ボーイスカウトのジャンボリーの開催、日印協会の会長職、ロシア問題、アフリカ問題など残した仕事がたくさんあり、当分、東京にあって仕事をします。郷里の能美市に帰って妻とともに老後を楽しむのは、もう少し後のことになりそうです。ご理解下さい。

皆さんのご健勝と自民党県連のご発展をお祈り申し上げます。

自民推薦候補が当選

今年、石川県内で行われた首長選と市議補選で、自民党推薦候補がいずれも勝利を収めた。能美市長選では現職の酒井悌次郎氏が無投票で3選を果たし、内灘町長選では新人の川口克則氏が現職との一騎打ちを制して初当

これは、県連が25年度県予算に反映させるため、昨秋、北陸新幹線開業の効果を最大限に引き出し、県民生活の安心を図る施策の充実などを重点要望事項として県に提出し、その回答書を受け取った際、逆に強く要望されたもの。植村哲県総務部長は、「国施策との絡みも多く、自民党の皆さんのお力添えをぜひお願いしたい」と話した。

選を飾った。また、能美市議補選では、新人で県連石川政経塾生の橋本崇史氏が見事トップ当選した。

お知らせ

自民党政経パーティーを開催 『日本の危機を突破力に変える!』

日時 4月21日(日) 午後1時～
会場 ホテル金沢 会費 20,000円

※ゲストとして党本部役員と大臣の計4人をお招きする予定です。

【お問い合わせ】
自民党県連政経パーティー実行委員会
☎076(237)0911



支部紹介

1 支部の活動 2 特徴 3 今年の抱負

※黨員数は平成25年2月現在

小松支部



支部長
灰田昌典
(小松市議)
黨員数
1746名

1 支部大会、拡大総務会のほか、青年局・部会議の勉強会、議員団の国会訪問による要望と陳情、校下部会長の研修、自民党PRの街宣活動、政経文化セミナーを開催している。

2 小松基地関係者との勉強会も随時開催し、小松基地との共存共栄及び新幹線開業を見据えた小松空港の国際化を図っている。市議の平均年齢も54歳と若く、議員活動の専門化が進む中で若手議員の育成につながる環境が整っている。

3 参議院選挙での圧勝に向けて黨員拡大を行い、さらなる自民党支持を徹底する。また、森元総理の勇退に伴い若年層の支持拡大が急務であり、頑張りたい。

宝達志水支部



支部長
守田幸則
(宝達志水町議)
黨員数
123名

1 毎年、支部総会を開催し、活動計画を協議している。

2 青年局・部、女性局とも、県連が行う研修会への参加など活発に活動している。

3 今夏の参議院選挙は今後の日本の行方を左右する重要な選挙であり、支部一丸となって必勝に邁進する。

中能登支部



支部長
杉本栄蔵
(中能登町長)
黨員数
247名

1 毎年、議会・各区長等と研修会及び懇親を行っている。

2 東日本大震災以降、各地区で原子力の勉強会および研修等を行っている。

3 参議院選挙での圧勝に向けて黨員拡大を図る。特に、若い年齢層の黨員拡大に力を入れている。

能都支部



支部長
新平悠紀夫
(能登町議)
黨員数
314名

1 県連会議をはじめ、青年部、女性部行事への参加。地域の声の代弁としての要望や黨員の募集など。

2 昭和43年の発足以降、約半世紀の実績を持ち、各選挙で他党より優位な得票をあげてきたと自負している。黨員の拡大に力を入れ、黨員数は昨年末からほぼ3倍増となっている。

3 今夏の参議院選挙の圧勝とともに、地方の声を届ける役割を忘れず、地域に根差した活動に力を注ぎ、黨員のさらなる増加に努めたい。過疎解消には政治主導による地方を重視した政策が不可欠であり、予算配分などの面で政権復帰した自民党への期待は大きい。